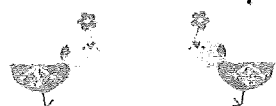


障害について共に考える講演会

『不良な』命からの審問（といかけ） ～コロナ時代の「障害者の生」について考える～

今年度も「障害者」の生活支援を中心に「少数者」の視点で活動されている高石伸人さんをお迎えし、講演会を開催します。近年の新型コロナウイルス感染症によって、多くの差別が炙り出されました。感染予防対策のつもりが、過剰に反応してしまい、不安が差別につながっていませんか。私たちは、多様な「個」との「つながり」を築くなかで、どういう社会を目指すべきでしょうか。「個人の尊厳」と「社会との連帯（つながり）」について、考えるきっかけにさせていただきたい内容です。

日時：2022年5月14日（土）



10:00～11:40



場所：桂川町住民センター

講師：高石伸人氏



プロフィール

1949年、福岡県旧筑穂町生まれ。直方市社会福祉協議会でソーシャルワーカーとして勤務。そこで障害当事者や支援ボランティアの組織化、専従手話通訳者の市役所配置などの運動に取り組む。1986年から小竹町の自宅敷地内で、障害者地域活動センター「虫の家」を共同運営。「障害者自身が町で存在感を示すことで、周りの人を変えていこう」との思いで発足させた。また、2008年に「杉野ハンセン病資料室」を併設。

現在は、NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」事務局長及び筑紫女学園大学非常勤講師

新型コロナウイルス感染症の状況により、中止する場合がございます。

中止になる場合は社協ホームページでお知らせします。

桂川町障害者関係連絡会・桂川町社会福祉協議会

電話：0948-65-2271 FAX：0948-65-4555

Mail：fukushi@keisen-shakyo.or.jp

